

3類型	鉍工業品	通巻番号	4 - 22 - 006
地域資源名	美濃焼	認定日	平成22年10月4日
地域	多治見市、瑞浪市、土岐市、 可児市	所管省庁	経済産業省

事業名:美濃焼の技術を用いたリチウムイオン電池正極材等を焼成する際に使用されるセラミックス製の容器(匣鉢(こうばち))の製造・販売

会社名:余語匣鉢株式会社

所在地:岐阜県多治見市笠原町上原1647

連絡先:TEL:0572-43-2748

HP:-

FAX:0572-44-1911

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は昭和24年の創業以来、タイル・食器向けの匣鉢(焼成時に使用される焼成道具の容器)の製造を営んできた。
- ・国内のタイル需要は減少しており、新分野への展開を模索する中で、平成20年にリチウムイオン電池正極材の焼成用匣鉢市場への進出を開始した。
- ・「美濃焼の土練技術」と長年同社が培った「乾式成型技術」を両立させ、高い寸法精度で寿命の長い同電池用匣鉢の開発に成功した。



【リチウム電池用匣鉢】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・同社は、原料調達から製品出荷までを一貫生産しており、本事業製品も独自の材質開発や土練、成形工程等において、研究開発を重ねた結果、製品化に成功している。
- ・同社の匣鉢は、寸法精度・耐浸食性・低価格での安定供給等において競争優位性を有している。

市場性

- ・世界のリチウム電池市場は、ノートパソコンや携帯電子機器等に加え、ハイブリッド車やEV車の普及により、2009年の8410億円から2014年には3兆1040億円に拡大する見通しである。
- ・同社の匣鉢は、リチウム電池メーカーの要望する製造工程の自動化や軽量化、長寿命化ニーズに対応が可能である。

販路

- ・リチウム電池メーカーへの直接販売を見込む。
- ・国内メーカーに加え、中国・韓国等への輸出も想定している。

地域における関係事業者等との連携

- ・岐阜県セラミックス研究所や名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センターと連携し、共同研究などに取り組んでいる。



【正極材焼成の様子】



【油圧プレスによる乾式成型】